



かく大學
KAKU UNIVERSITY

参考情報



角田市長期総合計画



角田市教育計画

かく大學 各種SNS



Instagram



LINE



Facebook



KAKU DAIGAKU BOOK

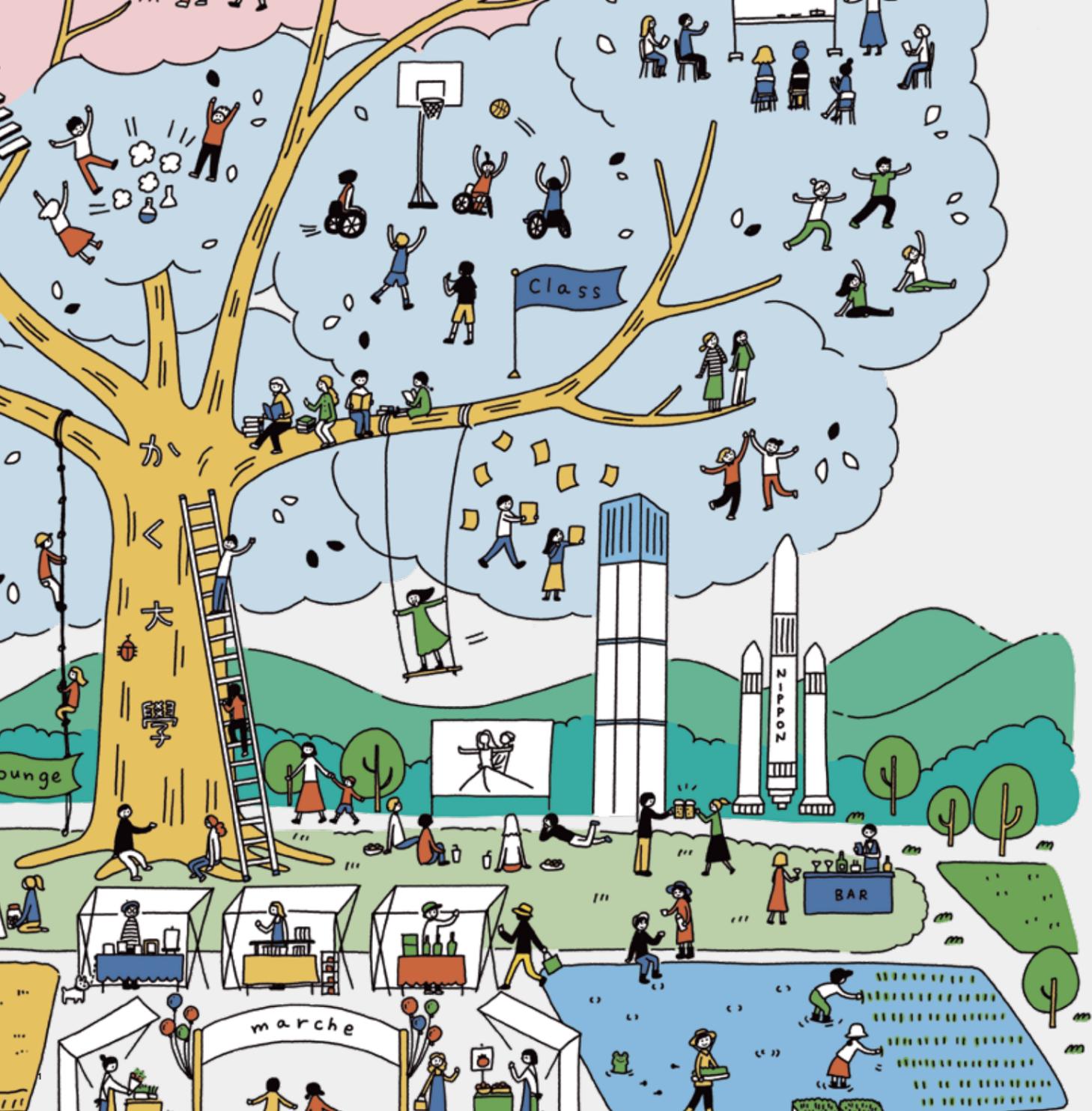
かく大學
キャンパスガイド



問合せ 角田市生涯学習課

宮城県角田市角田字牛館10

0224-63-2221 / syougaku@city.kakuda.lg.jp



このまちを
キャンパスにしなが
ら
出会って学んでつ
くる
新しい学校です

誰でも、いくつになっても持っている純粋な気持ち。普段は息を潜めている「やってみたい」オモイを持ち寄って、出会い、学び、語り合えたら、カタチにする力が湧いてくるかもしれません。かく大学は誰もが持っているそんな気持ちをみんなで支え合い、学びあい、応援しあうための場所です。キャンパスはこのまち、ぜんぶ。かく大学は、あなたのオモイを応援します。

角田市全体をフィールドにした新しい地域大学へ

従来の講座は講義形式のインプットが主体で、個人の学びに留まり、それがどのように活かせるかまで及ばない課題がありました。かく大学では探究的で実践的な学びを基本に、誰でも参加できる地域大学として誕生しました。生徒や先生という立場を設けず、年齢や立場を越えて共に学び合い、地域や社会にアウトプットすることを大切にしている新しい学びの場です。

- ポイント
- 1 出会う
年齢や立場をこえたユニークな出会いを
 - 2 学ぶ
普段できない経験や体験がある
 - 3 つくる
学びを活かして実験できる

かく大学から生まれたモノコト



マルシェの開催、企画運営



市内企業と課題をマッチング



子ども向けの絵本の制作



里山ビジネス創業

他にも...「子育てセラピスト」資格取得し、子育てサポーターとして活躍／空き家をリノベーションしフリースペースを運営／市内神楽保存会へ参加し、夏祭りや盆踊りなどで活躍／イラストレーターとして開業し、キャラクターデザインやグッズの製作販売／ラム酒醸造所開業に向けた取り組み など

興味のあるところから気軽に参加できる階層プログラムに

誰でもゆるく参加できるカフェ形式から、連続講座で興味を深めていくものまで様々です。参加者で自主的に運営されるOBOG会も。

チャレンジラボ

はじめの一歩として仲間と一緒に自分のテーマを深めながら、プロジェクトをつくります。

- ・自分自身を深掘りする
- ・ビジョンやミッションの整理
- ・プロジェクトをカタチに

学部

様々なテーマを持った学部を用意。自分の興味・関心のある分野に参加する、3回程度の連続プログラムです。

- ・幅広いテーマ設定
- ・連続プログラムで参加者との出会い
- ・座学だけではなく実践も含めたプログラム

ラウンジ

イベント形式で開催。時には食べ物や飲み物を片手に、ゆるく誰でも参加できる気軽な場です。

- ・かく大学の入り口になるラウンジ
- ・ラボ、学部参加者以外にも参加可能
- ・市外からゲストを招いた開催も

学長挨拶

角田市に関わる
一人一人の力が
未来のまちをつくる

学長 角田市長 黒須 貫



角田市第6次長期総合計画では「市民力咲き誇る。角田市☆～安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまち～」を都市像に制定しています。角田市らしい魅力にあふれた個性豊かなまちをつくりあげるためには、地域について主体的に考え取り組む市民の行動力、即ち「市民力」が何より大切だと考えています。かく大学はそのきっかけを担う場として、一人一人が個性や能力を活かし、皆さんと共に未来をつくるために、出会って学んでつくる新しい学校を目指して取り組んでいきます。

副学長挨拶

学びって
きっともっと「楽しい」

副学長 角田市教育長 永井 哲



変化が激しく、予測困難な時代に未来の社会をつくるには、一人一人の個性や能力を活かし、あらゆる他者と協働できる人材が不可欠です。興味関心や放っておけないことについて、年齢や立場を超え、力を合わせて挑戦し、納得できる答えを生み出していく過程を通して、意識や行動が変化し、持続可能な未来社会の創り手として成長できる場を手にすることができます。角田市が取り組む新しい地域大学「かく大学」では新しくユニークな「楽しい」学びを創ります。

チャレンジラボ



仲間と一緒に自分のテーマを深めながら、プロジェクトをつくる

「何かやってみたい」ははじめの一歩として、仲間と一緒に自分のテーマを深めながら、プロジェクトをつくります。興味・関心等からビジョンやミッションを整理し、共感が得られるカタチを模索します。一足先にチャレンジした先輩や、全国の他の地域で挑戦する仲間たちとの交流も。

*全国各地と交流…富山県砺波市「ASOVIVA」、愛知県奥三河まるごとキャンパス・田舎女子ゼミ、広島県尾道市若者チャレンジ講座 など



もやもやの種



仲間と深める



プロジェクトへ



担当



ディレクター：尾野 寛明

総務省地域力創造アドバイザー、有限会社エコカレッジ 代表取締役、デジタルハリウッド大学非常勤講師/1982年生まれ。2001年に東京で起業し、東京と島根を毎週行き来する「地域居住」を10年以上続けている。そのかわり全国各地で「地域づくり実践塾」に参画し、子育てママやサラリーマンでも気軽に無理なく地域づくりに携われる仕組みづくりを行っている。

自分たちの力でできそうなことを、少しずつ

これまで起業家や力あるリーダーがまちを支えることができました。しかし、これからは一人一人の週末の兼業や学業・子育ての合間に気軽に行う活動だって、地域を支えるとても貴重な活動です。これは私たちの暮らしや街を「ちょっとよくなる1つの手段」です。まずは、無理なくゆっくりと。自分たちの力でできそうなことを、少しずつ。そして、せっかくなるなら、楽しんで。私たちは「自分ごと」で取り組む人の背中を押し続けます。



ファシリテーター：谷津 智里

Bottoms代表/ライター・コンテンツディレクター。2008年に東京から白石市に移住。「その地域がその地域らしくあるために」を信条に、移住パンフレット制作や展示ディレクション、市民ライター講座の講師などを手がけつつ、市民自らの手による地域づくりを応援している。

立場も年齢も関係なく「やってみたい」を育てる

立場も年齢も職業も住まいも関係なく本当にどんな人でも、「やってみたいこと」の種を持っているし、その中には「自分らしさ」が溢れていることを、毎年、ここで出会うみなさんから感じています。一人では踏み出せないこと、勇気が出ないこと、いつの間にか過ぎていってしまう時間を、ここで出会った人たちと一緒に豊かなものに変えていけると、確信しています。周りの人が、今まで知らなかった自分と出会わせてくれますよ。

学部

複数回のプログラムで興味がある分野を深堀り

かく大學では毎年様々なテーマを持った学部を用意しています。3回程度の連続プログラムの中で、自分の興味・関心と似ている方との出会いも。角田市ならではの個性的なテーマから、クリエイティブ、コミュニティ、ソーシャルな学部でワイワイ実践形式。次の1歩が見つかるようなプログラムです。



学びたいこと・興味のあること 語り合う、やってみる、つくってみる

ラウンジ

単日開催の気軽に参加できる
かく大學の入り口

誰でも参加できる気軽な対話の場です。ゆる〜く食べ物や飲み物片手にご参加大歓迎。知っているようで知らなかった角田市を取り巻くことから「こんな人いたんだ!」「そんなことやってたんだ!」と、新しい一面を発見することができます。琴線に触れる出会いが訪れるかも。



トークを聞いたり、体験したり、話したり... 新しい発見や出会い

- みんなの場づくり学部
- 失敗学部
- 農ある暮らし学部
- つくる!デザイン学部
- やってみよう実験室
- 伝える!発信学部
- 利他で始める未来学部
- エンジョイ古道具学部
- 空想ラジオ学部
- 宇宙をちかくする学部



オープンフリートーク/TOHOKU360安藤さんと今年を振り返ろう/猪瀬公平『野生のしっそう』出版記念トーク/新しい古民家宿MARUKI齋福オープン記念トーク/角田デ、〜デザインから見るかくだ〜/ラム酒と梨の知らない世界/角田から宇宙をちかくするゲームをつくろう



失敗学部、やってみよう実験室、エンジョイ古道具学部
担当：桃生 和成
一般社団法人Granny Rideto代表/利府町まち・ひと・しごと創造ステーション tsumikiディレクター、シェア型総合施設THE6ディレクター、東北文化学園大学非常勤講師、「復興から学ぶ市民参加のまちづくり-中間支援とネットワーク-」(創成社2018年)共著、東北の日常をおもしろくをテーマにしたつれづれ団の団長としても活動。

カタチにするためのアクションを

私自身、かく大學で多くの出会いがありました。はじめて絵本を作った方、YouTuberとしてデビューした方、不登校の親の会を立ち上げた方、ピラティスのインストラクターとして活動をはじめた方などたくさんの方が、かく大學をきっかけに大きな一歩を踏み出しています。夢を語ることも素敵ですが、カタチにするために具体的な行動を移すことが大事です。1人では難しいことも、かく大學が背中を押してくれます。



『野生のしっそう』出版記念トークゲスト:猪瀬浩平さん
角田市が歩んだ歴史が人と人をつなげていく
角田市は農業やモノづくりを通じて、国内外の地域とつながるユニークな取り組みの歴史があります。かく大學は、角田市で暮らす人びとの学びたい、つながりたい、生み出したいという気持ちを引き出し、カタチにする社会教育の新しい動きです。これまでまちが積み重ねた歴史がつながって、さらに発展していくことが楽しみです。



大学生:佐藤李咲さん
まずはラウンジで雰囲気を感じてほしい!
かく大學ってどんな場所なんだろうと思う方も多いですね。大学生の私も、学校以外の場に参加したことがなく、緊張していました。ラウンジは単日のため参加しやすく、ゆるやかな雰囲気だったことを覚えています!今まで知らなかったことに出会うことで、視野が広がり、学ぶってこんなに楽しかったんだと気付かされました。



かく大學生のあれ



data [かく大學生オープンキャンパス]かく大學生の企画説明会や関わる方々とのトーク、マルシェなど雰囲気を実際に感じられます。

第一印象は「かく大學生？」という疑問と少しの好奇心でした。オープンキャンパスへ参加し、何か出来るかなと考え始めました。OBの方々の体験から人との交流・学び・意欲や行動を改めて思い出し、いつでも何歳でも何かを始められると思えました。

教えてくれたのは...
かく大學生5期生
片野美紀さん

梨ジュースのパッケージ & 絵本



data [吉川果樹園のはじまりのジュース]道の駅かくだにて販売中 [絵本]『いろ』角田市こども図書館で読むことができます

吉川果樹園さんの梨ジュースのラベル絵には、吉川さんの夢の要素を入れ込みました。この絵は私にとっても夢への一歩となるものでした。また、幼い頃の夢“絵本作家”を思い出し「今絵本を作ればなりたいたい自分が見える」と作った絵本が角田市こども図書館に！

教えてくれたのは...
かく大學生4期生
庄司奈緒子さん

高校生に授業もしちゃう



data [CHIKURAKU]竹林整備・里山保全、整備で排出された伐採竹を利用し、2次加工品(竹あかり、竹炭など)の生産も行う

学生の時にかく大學生へ参加し、在学中に起業しました。そのご縁で角田高等学校の探究授業に登壇し、進路に悩んでいたことや大学での学修を活かしてCHIKURAKUを創業し、竹林整備や農産販売を行っていることなど様々な話をさせてもらいました。

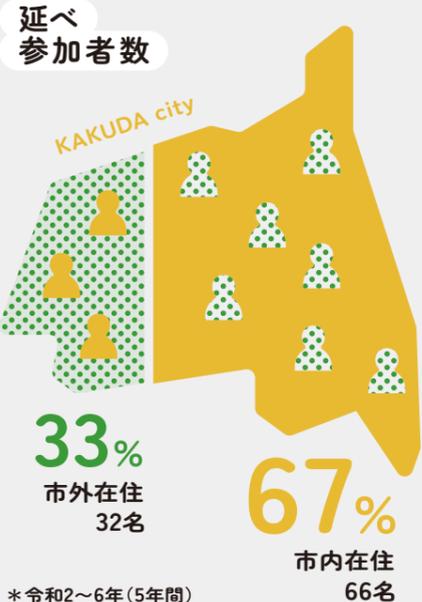
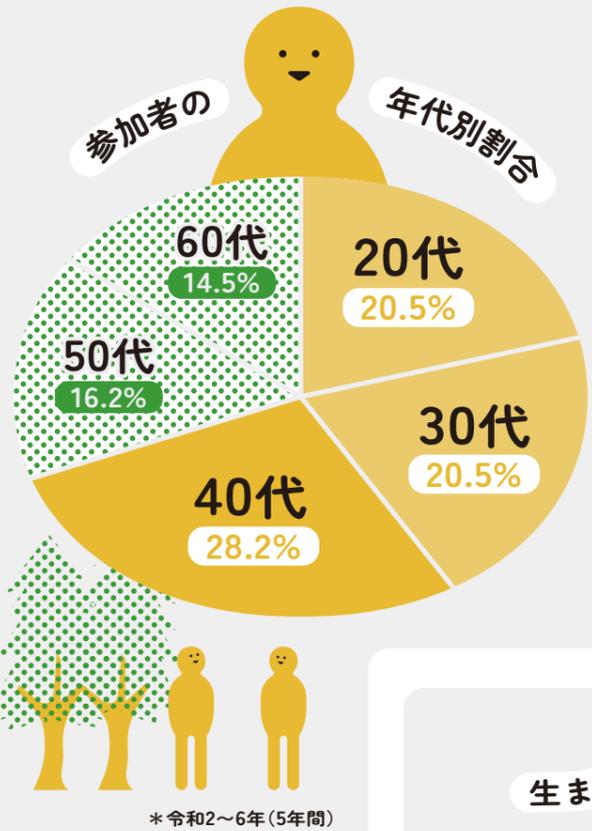
教えてくれたのは...
かく大學生4期生
阿部楽生さん

data de miru kakudaigaku

データで見る
かく大學生



参加者の属性割合やプロジェクトについて、データからかく大學生を見つめてみましょう。



かく大學生を何で知ったか

51%

* 令和4～6年(3年間)



生まれたプロジェクト数

33PJ!

* 令和2～6年(5年間)ラボ企画参加者)

延べ参加者数

117名

ラボ、学部、ラウンジ参加者延べ

1,063名

ラボ学部ラウンジ説明会、最終報告会参加者延べ

新たな世界の入り口になったかく大祭



data [かく大祭]毎年年度末に開催しているかく大學生最終報告会。飯淵さんは「カクダの酒場」をテーマにプレゼンしました

かく大祭では年齢や立場を超えて、好奇心や探究心のもとに集まったかく大學生の自由な取組の成果が発表され、更なる共感や交流の輪が広がった場でした。何よりも打上げて飲むビールのおいしさは異次元…。まさに新たな世界の入口です！

教えてくれたのは...
かく大學生5期生
飯淵智仁さん

市内各地のお祭りで大活躍



data [かくだ半宇姫夏祭りや各地区盆踊り]毎年8月お盆の時期に開催される市民参加型様々なお祭りは角田の夏を彩っています。

私は伝統文化を未来に繋ぐ活動を始めました。お囃子などを覚えるまで大変でしたが、今は「かくだ半宇姫夏祭り」や各地区の盆踊りに出演。かく大學生をきっかけに、地域で自分ができることについて考えるようになりました。これからは若い年代も巻き込んでいきます！

教えてくれたのは...
かく大學生3期生
佐藤鈴花さん

かくだ駅前マルシェで経験値UP



data [かくだ駅前マルシェ]阿武隈急行線 角田駅前の広場で毎月第1日曜日に開催 / Instagram@kakudasta.marche

私はかく大學生をきっかけに主婦からイラストレーターを開業しました。制作したグッズなどを販売するのに駅前マルシェに出店したのですが、情報交換も活発で、新たな出会いがたくさんありました。何より自身がイベントをより楽しみたい!と思うようになりました。

教えてくれたのは...
かく大學生3期生
米森美穂さん

地元新聞に特集記事が掲載



data [ほっとすてーしょん]不登校の子を持つ保護者のお茶会を月1回、日曜日に開催中。参加はLINEオープンチャットから。

かく大學生参加をきっかけに立ち上げた「ほっとすてーしょん」は、不登校や引きこもりのお子さんを持つ保護者のための会です。その様子を新聞に特集記事で大きく取り上げて頂き、多くの方々に不登校について知って頂く機会となりました。

教えてくれたのは...
かく大學生4期生
山中由香さん

大学の授業でもかく大學生！



data [大学・高校と連携]かく大學生は様々な高等学校や大学と連携しながら授業やワークショップなどを通して交流しています。

通学していた大学の授業でかく大學生を知りました。特に「出会って、学んで、繋がる」ことを大切にしている部分に共感しました。実際に参加して、多世代の方とつながり、その方たちと一緒に交流できることを今後も追求していきたいと思っています。

教えてくれたのは...
かく大學生5期生
河合健太郎さん

東京から参加！オンラインでつながる新たな発見



data かく大學生では、場所や時間を選ばず託児やオンラインなど、ご相談に応じて柔軟な学びの機会を提供しています。

「東京から参加!？」と驚かれるかもしれませんがね…。母校の廃校を機に地元のオモイが芽生え、かく大學生へ飛び込んでみました。ほとんどオンライン参加ではありましたが、離れているからこそ見える角田の良さに気づき、地域とのつながりを実感しました。

教えてくれたのは...
かく大學生2期生
加藤詠理さん